

「肩のちからをぬいてホッとひといきカフェタイム」

2018年 5月1日(火) 10:00～15:00

場所 こころはうす (ここからKit)

BOOK FESTA

まちライブラリー ブックフェスタ2018 in 関西

2018 in KANSAI

レポーター:長谷川



イベントレポート

参加者数: 11人

ブックリスト

普段、本について語り合う機会もなかったので、いい時間でした・・・との感想をいただきました。コーヒーを飲みながらゆったりとした時間を過ごすことができたようです。そばでは、子どもたちの笑い声がとても心地よく聞こえていました。



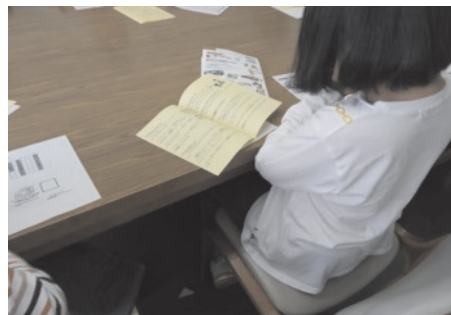
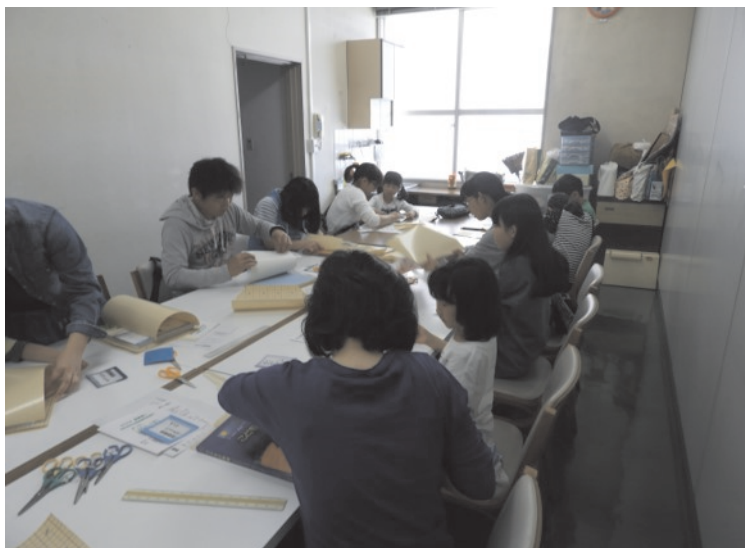
子どもの日イベント「図書館員になってみよう！」

2018年5月5日 1部10:30～11:30 2部14:00～15:00

場所 岸和田市立図書館

BOOK FESTA
まちライブラリー ブックフェスタ2018 in 関西
2018 in KANSAI

レポーター: 加藤



イベントレポート

参加者数: 第1部・2部合わせて25 人

ブックフェスタへの参加が決まり、どんなイベントをするかの話し合いをしていた時に、市民さんから、「子どもは体験が好きだから、図書館員になるイベントを企画しては？」と提案いただいたことをきっかけにエントリーしました。

カウンターでの仕事や本の装備などを体験してもらいました。

フェスタのパンフレットを見て市外の方からの参加が2組ありました。

ブックリスト

久米田の道、未知を探れ！1日目

2018年5月5日 13:30～16:30

場所 岸和田市立図書館

BOOK FESTA
まちライブラリー ブックフェスタ2018 in 関西
2018 in KANSAI

レポーター：山田



イベントレポート

参加者数:17 人

この取組は、実際に久米田池周辺をまち歩きして、歴史や文化、風習などの景観に触れ、得られた地域の情報をオープンデータとして世界に発信するため、和歌山大学岸和田サテライトの「先週らへんでオープンデータとGISを楽しむ会(仮称)」が主催し、図書館、都市計画課などが協力して開催しました。

まち歩きの前に、事前調査として、ボランティアガイドをされている方をカタリストに、久米田の歴史について話をしてもらい、その後、図書館にある地域資料を使って、久米田についてそれぞれが調べました。

ブックリスト

「角川日本地名大辞典」
「おおさかのむかし話」
「泉州文化資料」
「久米田寺の歴史と美術」
「名所古跡を訪ねて」
「久米田寺」
「大町遺跡」
「岸和田市史1～4」
「久米田池郷の歴史」
「泉州久米田寺文書」
「郷土の史跡を訪ねて」
「岡部長景巢鴨日記」
「岸和田自然散策マップ」
「岸和田風物百選」
「岸和田の土と草と人」
「泉州の寺社縁起」
他多数

久米田の道、未知を探れ！2日目

2018年5月6日 10:00～12:00 まち歩き

13:00～16:00 Wikipedia編集

場所 岸和田市立八木市民センター

BOOK FESTA
まちライブラリー ブックフェスタ2018 in 関西
2018 in KANSAI

レポーター: 山田



イベントレポート

参加者数: 30 人

ブックリスト

久米田周辺のまち歩きは、ボランティアガイドさんによる久米田池、久米田寺、久米田古墳群などについてのレクチャーや、日本野鳥の会の方による久米田池の自然環境についてのレクチャーもついていて、とても充実した内容でした。

午後からは、wiki執筆やオープンデータについてのレクチャーを受け、4グループに分かれ、撮影データや参考資料を基に編集作業を行い、成果を発表しました。

各地でマッピングパーティーを開催しているグループが集まり、そこには個人で参加している他市の図書館司書さんもいてたくさんの出会いがありました。

旅するみなみちゃん～イベントレポート～

2018年5月6日 10:00～12:00 5月24日 16:00～16:30

場所 イベントスポット

BOOK FESTA
まちライブラリー ブックフェスタ2018 in 関西
2018 in KANSAI

レポーター：みなみ



イベントレポート

ボランティア「みなみちゃんとおはなしたい」のイメージキャラクターみなみちゃんが、ブックフェスタのイベントに参加して、イベントをレポートしました。

岸和田の八木地域で活動するみなみちゃんなので、八木地域のイベント「久米田の道、未知を探れ！」と「めえーとくんのおはなしひろば」に参加しました。

これをきっかけに、図書館や地域のイベントに参加して、レポートしようかなと考えています。

ブックリスト



小さなおはなし会「きりたくんといっしょ」

2018年5月2日・9日・16日・23日(水) 10:30～11:00

場所 岸和田市立旭図書館

BOOK FESTA
まちライブラリー ブックフェスタ2018 in 関西
2018 in KANSAI

レポーター: 加藤



イベントレポート

参加者数: 親子8組

旭図書館で毎週大人気の旭図書館サポーターさんによるおはなし会です。子どもたちが飽きないように、手遊びやわらべ歌をはさんだおはなし会はいつも親子で楽しんでいます。

もりのみやキューズモールでブックフェスタのパンフレットを見て参加してくれたお父さんと子どもさんがいたのは嬉しかったです。

ブックリスト

「くつしたくん」(中川ひろたか)
「がたんごとんがたんごとんざぶんざぶん」
(安西水丸)
「どうすればいいのかな」(渡辺茂男)
「バスなのね」(中川ひろたか)
「もこもこ」(谷川俊太郎)
「はははのはなし」(かこさとし)

本を通じて語り合おう、認知症のこと

2018年5月12日 10:00～12:00

場所 岸和田市立福祉総合センター 2階

BOOK FESTA
まちライブラリー ブックフェスタ2018 in 関西
2018 in KANSAI

レポーター: 岸和田市社会福祉協議会 青山 織衣



イベントレポート

参加者数: 11人

当日は、岸和田市介護者家族の会「みずの輪」のメンバー、現在進行形で家族を介護している人や離れて暮らす認知症の親が心配な人、また認知症予防について知りたい人など、さまざまな関心を持った人同士が語り合う場となりました。

まずはフリーディスカッションから始めて、後半は日頃から認知症がある人のケアに携わっておられる有限会社野花ヘルスプロモートの正木氏に介護予防の紙芝居の紹介をしていただき、さらに話題が広がりました。

他にも本を持ち寄ってくださった方もいらっしゃって、早速「その本読みたいからお借りしてもいいですか？」という会話が生まれたり、介護者家族の会が実施する気軽なカフェへのお誘いがあって、「次行ってみるわ」という人がいたり、まさに本を通じて人と人がつながるイベントとなりました。

ブックリスト

一般書

『『認知症丸』に乗って』
「まなざしかいご」(藤川幸之助)
「旅のことば」(伊庭崇)
「注文をまちがえる料理店」小国士朗

児童書

「ぼくのおじいちゃん」(マルタ・アルテス)
「ばあばははだいじょうぶ」(楠章子)
「おもいでをなくしたおばあちゃん」
(ジャック・ドレーセン)
「おばあちゃんに
ささげる歌」
(アンナ＝レーナ・
ラウリン)



だっこでおはなし会atさくらだい

2018年5月17日(木) 10:30～11:00

場所 岸和田市立桜台図書館

BOOK FESTA
まちライブラリー ブックフェスタ2018 in 関西
2018 in KANSAI

レポーター: 宮畑



イベントレポート

参加者数: 親子9組

だっこでおはなし会atさくらだいはボランティアグループ「だっこ」のみなさんによるおはなし会です。毎回スタッフのみなさんもたくさん参加してくださって歓迎ムードで出迎えてくださるので、毎回人気のおはなし会です。

まちライブラリーブックフェスタの案内をすると、若いお母さんの中には知っている人もいて、岸和田オリジナルのスタンプラリーにも関心を持ってくださっていました。

ブックリスト

・タイトル (著者)

「いいおかお」(さえぐさひろこ)
「もこもこもこ」(谷川俊太郎)
その他「顔」に関する絵本

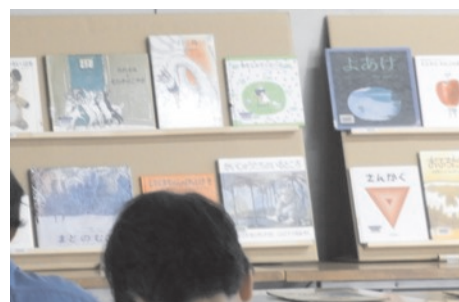
講演会「絵本で育てる子どもの心」

2018年5月20日(日) 14:00～16:30

場所 岸和田市立図書館

BOOK FESTA
まちライブラリー ブックフェスタ2018 in 関西
2018 in KANSAI

レポーター：花田



イベントレポート

参加者数：53人

ブックリスト

正置友子氏おすすめほんリスト

絵本研究家、正置友子氏の講演会は、岸和田市みんなの図書館を考える会、岸和田市子ども文庫連絡会の共催で開催しました。

戦時中から現在にいたる絵本の変遷について、映像を見ながらの講演は、普段子どもと絵本に関わっている参加者からにとって学びの多い場となり、講演時間を超えるほど盛り上がっていました。

Libraryでliveあり？～図書館で音楽を楽しむ

2018年5月19日(土) 14:00～16:00

場所 岸和田市立図書館

BOOK FESTA

まちライブラリー ブックフェスタ2018 in 関西

2018 in KANSAI

レポーター：宮畑



イベントレポート

参加者数：19人

図書館で大好きな音楽をBGMに音楽と本についての思い出を語る初めての企画、図書館の1階フロアで開催しましたが、図書館で音楽が流れている光景に違和感はなく、自然なBGMとして流れてました。邦楽や洋楽など多様なジャンルの音楽がバックに流れる中、みなさんの思いを語ってくれました。

後半では用意していた本では不足、図書館の本を探して紹介したり、何度も紹介してくれたりと総勢8名の方が紹介してくださいました。

20代から70代までの方が同じ空間で音楽と本を楽しむ素敵なイベントとなりました。

ブックリスト

・タイトル（著者）

「パーマネント神喜劇」
「フリースタイル・ラップの教科書」
「ブラックミュージック入門」
「涙でリールが見えない1. 2. 3」
「それでも僕は「現場」に行く」
「野口健が聞いた英霊の声なき声」
「ビルマの竖琴」
「はじまりの日」
「チョコレート工場の秘密」
「告白」
「氷の華」
「神様の裏の顔」
「わたしと小鳥とすずと」
「ドクターラット」
「図解雑学社会学」
「バカミスの世界」
「ケイヴマン」
「幻夜」
「白夜行」
「マスカレードホテル」
「よるくま」

めえーとくんのおはなしひろば

2018年5月24日(木) 10:30～11:00

場所 岸和田市立八木図書館

BOOK FESTA
まちライブラリー ブックフェスタ2018 in 関西
2018 in KANSAI

レポーター：藤田



イベントレポート

参加者数：大人7人 子ども10人

毎月1回、幼児から小学校低学年向けのおはなし会を八木図書館ボランティアのお2人ががしてくれています。

ストーリーテリングや絵本の読み聞かせ、パネルシアターや大型絵本など、子どもたちが飽きないように工夫されたおはなし会は、地域の子どもたちが習い事の後に遅れて参加してくる様子からも毎回楽しみにしていることがうかがえました。

ブックリスト

・タイトル（著者）

「どろんこハリー」(ジーン・ジオン)
「そらめくんのベッド」(なかやみわ)」

岸和田らしい景観の話をしてよう

2018年5月26日 14:00～16:00

場所 岸和田市立まちづくりの館(本町)

BOOK FESTA
まちライブラリー ブックフェスタ2018 in 関西
2018 in KANSAI

レポーター: 渡邊光司



イベントレポート

参加者数: 18人

紀州街道沿いの歴史的なまちなみの残る本町地区にある「まちづくりの館」にて、「岸和田らしい景観について話をしよう」のイベントを開催しました。

イベントは、参加者の皆さんが持ち寄った景観にまつわる本をご紹介頂いたのち、カタリストより江戸時代の人々の暮らしを記した当時の絵日記や古文書などを解説頂き、先人たちにより培われてきたまちの景観について意見交換が行われました。

また、参加者の中には、会場周辺の岸和田城や紀州街道のまちなみを見学される方も居られ、岸和田らしい景観を満喫いただきました。

景観とは、見える景色だけではなく、そこに暮らす人々の関わりにより生み出され、育まれていくものであることを「本(ホン)」と通じて共有できたと思います。

ブックリスト

(紹介された本のタイトル(著者)の一覧、または本を並べて(タイトルがわかるように)撮った写真を貼付してください)

- ・小梅さんの日記(小梅日記を楽しむ会)
- ・武士の絵日記(大岡敏昭)
- ・江戸子育て事情(今野信雄)
- ・大江戸生活事情(石川英輔)
- ・野辺風韻(亀田日生)
- ・ニッポン景観論(アレックス・カー)
- ・京都、大阪、神戸名建築さんぽマップ(宇佐美洋介)
- ・ブラタモリ(NHK「ブラタモリ」制作班)



大阪本と言えば？

～江弘毅さんと「大阪本について語ろう」

2018年5月27日(日) 14:00～16:00

場所 岸和田市立図書館

BOOK FESTA
まちライブラリー ブックフェスタ2018 in 関西
2018 in KANSAI

レポーター：藤田



イベントレポート

参加者数：親子17人

岸和田出身の編集者、江弘毅さんをカタリストに迎え、「大阪弁によるブンガク」について語っていただきました。

カタリストの岸和田弁全開の軽妙かつ深いお話にみなさん引き込まれていました。持ってきた本を紹介された方は数名でしたが、持参されていた方はたくさんいました。参加者が自然と話出せる雰囲気づくりが必要だと感じました。

この形でいろいろなテーマで本と人が出会うイベントが生まれたらいいなと感じたイベントでした。

ブックリスト

・タイトル（著者）

「わたくし率いん歯」(川上三映子)
長谷川義史 絵本
「万葉歌みじかものがたり」(中村博)
「カムイ伝」(白土三平)
「後妻業」(黒川博行)
「花神」(司馬遼太郎)
「大阪的」(江弘毅・津村記久子)
「村上海賊の娘上・下」(和田竜)
「岸和田だんじり祭りだんじり若頭日記」(江弘毅)